

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和3年度】

主管課名(担当名)	総合政策室(総合政策担当)		
事務事業名	標津線代替輸送連絡調整協議会負担事業	事業番号	10573
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-8 地域交通の維持確保
	施策目標	市民生活を支える交通環境が充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	標津線沿線住民
	対象者の今後の予想	現状維持
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	JR標津線の廃止に伴い、沿線住民のうち高齢者や学生などの移動手段を持たない交通弱者の移動手段を確保するため、代替輸送手段であるバス路線の運行費等を負担する	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	旧標津線の代替輸送手段であるバス路線を維持し沿線住民の移動手段を確保する	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)
		H29	H30	R1	R2	R3		
1 標津線代替輸送連絡バス路線数	9路線	9路線	9路線	9路線	9路線	9路線	9路線	9路線
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				R3予算		R3決算		R4予算
				11,809		11,365		9,476
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他			11,809		11,365		9,476
	一般財源							
人員(人工)				0.04		0.04		0.04
職員人件費(=人員(人工)×7,704千円)				308		308		308
総事業費(=事業費+職員人件費)				12,117		11,673		9,784
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				1,346		1,297		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	経路変更等により利便性の向上を図っているが、別海高校への通学利用で数人の生徒の乗車にとどまっており、現在、標津線代替輸送連絡調整協議会において今後の路線の在り方について検討している。
今後の動向・市民ニーズなど	代替バスは沿線住民にとって、通院や通学など日常生活に欠かせないものであるが、路線維持に対するニーズはあるものの、根室市民の利用は限定的である。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	代替輸送手段であるバス路線を現状維持しているため結びついている。
	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	沿線自治体による標津線代替輸送連絡調整協議会を組織しており、特定地方交通転換交付金を積み立てた基金事業であるため
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	利用者の減少からや基金残高の減少により自治体負担が増しており、協議会のあり方について検討を進める必要がある。
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	利用促進により円滑並びに本来の交通路線が確保され、その結果、コスト減となるが、抜本的な見直しは路線廃止や減少が懸念される。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	旧標津線の廃止に伴う特定地方交通転換交付金を積み立てた基金事業であるため統合の可能性はない。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	利用者は、運行にかかるバス運賃を負担しており、現状維持が妥当。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和4年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和3年度】

主管課名(担当名)	総合政策室(総合政策担当)		
事務事業名	中標津空港利用促進事業	事業番号	10587
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-8 地域交通の維持確保
	施策目標	市民生活を支える交通環境が充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	中標津空港利用者
	対象者の今後の予想	増加
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	根室市内と管内唯一の空港「中標津空港」間の交通アクセスを確保するため、バス事業者と沿線自治体(根室市、別海町、中標津町)が連携し、バス路線の運行費を負担することで路線の維持確保を図る。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	空港機能の一部である2次交通の充実を図り、公共交通体系の維持確保と空港を拠点とした周遊観光ルートを形成し観光客の誘致を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)
		H29	H30	R1	R2	R3		
1 航空機離発着時の接続便数確保	4便	4便	4便	4便	4便	4便	4便	4便
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				R3予算		R3決算		R4予算
				19,191		13,277		23,422
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他			19,191		13,277		23,422
	一般財源							
人員(人工)				0.04		0.04		0.04
職員人件費(=人員(人工)×7,704千円)				308		308		308
総事業費(=事業費+職員人件費)				19,499		13,585		23,730
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				4,875		3,396		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	インターネット予約による利便性の向上やHPによるPRの実施は継続して行っているが、さらに利用者の増加に向けた利用促進の取り組みを行う必要がある。 本路線は空港線であるが生活交通路線であることを再認識し、運行経路の効率化や定時性の確保など、沿線自治体及び事業者と協議していく必要がある。
今後の動向・市民ニーズなど	自家用車の普及等によりバス利用者は非常に少ない状況であるが、通学、観光客、ビジネスマン、交通弱者等の移動手段を確保するためにも、引き続き路線の維持確保に努める必要がある。

5 事務事業の評価

	<input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	中標津空港離発着の全便に接続していることで、利用者の交通手段は確保されているが、根室までの移動時間が約2時間かかるなど、利便性を向上させ、利用の増加を図る必要がある。
	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	公共交通の維持確保であるため、行政以外が取り組むことは妥当ではない。
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	空港連絡バスの性質を鑑み、運行時間の短縮を図る等、利便性の向上とともに、サービス向上による利用促進策の検討など、改善の余地はある。
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	利用促進により円滑に本来の交通路線が確保され、その結果、コスト減など運行の効率化が図られるが、抜本的な見直しは路線廃止や減少が懸念される。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	利用者の減少に伴い、運行の効率化を図る観点から、将来的な路線の在り方については他の路線も含めて検討する可能性がある。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	利用者は、運行にかかるバス運賃を負担しており、利用促進のためにも現状維持が妥当

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和4年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和3年度】

主管課名(担当名)	総合政策室(総合政策担当)				
事務事業名	生活交通路線維持対策事業	事業番号	11586		
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-8 地域交通の維持確保
	施策目標	市民生活を支える交通環境が充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	バス利用者
	対象者の今後の予想	現状維持
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	日常生活を営むうえで欠かせない公共交通を確保するため、バス事業者に対する補助金の支援を行い、生活バス路線を維持する。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	地域交通は、通院、通学、買い物等の日常生活における利用による「市民の足」として、また、子育て世代や高齢者が市民活動を行ううえで「地域の足」として、経済活動及び地域活性化の基盤となることが期待されるため、維持していくことが必要。観光客やビジネス客の移動手段でもあることから、公共交通の維持は市内の消費喚起にも繋がるもの。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		H29	H30	R1	R2	R3		
1 補助対象路線の維持(釧路線、納沙布線、花咲線、厚床線、公住循環線、西浜線)	6路線	6路線	6路線	6路線	6路線	6路線	6路線	6路線
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				R2予算		R2決算		R3予算
				37,001		40,529		40,206
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他			37,001		40,529		40,206
	一般財源							
人員(人工)				0.04		0.04		0.04
職員人件費(=人員(人工)×7,704千円)				308		308		308
総事業費(=事業費+職員人件費)				37,309		40,837		40,514
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				6,218		6,806		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	高齢化の進展に伴い公共交通ニーズは高まっているものの、人口減少に伴う利用者の減少により、事業の縮小を余儀なくされている。バスのみならず、広く公共交通のあり方について、市民、交通事業者、行政等が一体となって検討していく必要がある。観光による誘客を図るにあたり、各公共交通がスムーズに接続することでより送客効果を高められ、さらに到着後の市内での移動もスムーズであれば、効率的に利用促進が図られる。観光面を主軸に公共交通のあり方を考えることでも利用促進につながる手段と考える。
今後の動向・市民ニーズなど	自家用車への依存により、利用者の減少はあるものの、市民の日常生活において、公共交通の重要な移動手段であり、持続可能な公共交通体系の構築が求められる。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	地域の足であるバス路線を現状維持しているため結びついている。
	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	公共交通の維持確保であるため、行政以外が取り組むことは妥当ではない。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	見直しによってはバス路線の廃止や減少等の懸念がある。市民、事業者、行政が一体となってこれからの地域交通のあり方を協議する必要がある。
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	利用促進により円滑並びに本来の交通路線が確保され、その結果、コスト減となるが、抜本的な見直しは路線廃止や減少が懸念される。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	それぞれのバス路線にはそれぞれの性質を持っているため、統合の可能性はない。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	利用者は、運行にかかるバス運賃を負担しており、利用促進のためにも現状維持が妥当

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和4年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和3年度】

主管課名(担当名)	総合政策室(総合政策担当)		
事務事業名	根室本線花咲線維持確保対策事業	事業番号	12744
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-8 地域交通の維持確保
	施策目標	市民生活を支える交通環境が充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	根室本線花咲線利用者
	対象者の今後の予想	現状維持
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	JR花咲線の維持・存続に向けた議論・検討をし、利用促進PR事業等を実施する。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	北方領土隣接地域と道央圏を結ぶ唯一の鉄道として、人的・物的交流を支える国策上重要な位置づけにあり、また、広域観光周遊ルートの形成に重要な役割を持つ路線であることから、市民の通学や通院など沿線地域住民の安全安心な日常生活の維持及び根室本線花咲線を維持存続する。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H29)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)
		H29	H30	R1	R2	R3		
1 輸送密度の増加(根室本線・花咲線)	264人	264人	250人	238人	150人	174人	500人	600人
2 花咲線普及促進活動助成金活用団体数	—	—	3件	3件	1件	2件	2件	4件
3								
4								
事業費(=下記内訳計)			R3予算		R3決算		R4予算	
			19,928		18,877		24,928	
内訳	国道支出金				5,000		5,000	
	地方債							
	その他		19,928		13,877		19,928	
	一般財源							
人員(人工)			0.33		0.33		0.33	
職員人件費(=人員(人工)×7,704千円)			2,542		2,542		2,542	
総事業費(=事業費+職員人件費)			22,470		21,419		27,470	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)			129		123			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)			11,235		10,710			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	JR花咲線の維持・存続に向けた議論・検討をし、引き続き利用促進PR事業等を実施する。
今後の動向・市民ニーズなど	花咲線の魅力向上による利用促進PR事業や、花咲線を地域で支える機運の醸成に繋がる普及促進活動助成金の交付により、主に観光利用での利用者の増加を期待することができる。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	花咲線の維持・存続に向けた取組みにより、交通弱者の移動手段の確保に繋がっており、また、観光利用での利用者の増加に結び付いている。
	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	地方公共団体は、交通に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、地域の諸条件に応じた施策を策定し実施する責務があることから、市が実施すべきものである。
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	JR花咲線の維持・存続に向けては、乗客数や利用状況の変化等を踏まえて情報発信の在り方を見直し、ブランド形成を考えた「地球探索鉄道・花咲線」としての事業展開や、「クラウドファンディング型ふるさと納税」の戦略的な活用など取組みを進めているところであり、今後においても、関係機関と連携を図りながら、花咲線の活性化に繋がる事業を検討しながら進めていく。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	花咲線利用促進PR事業の継続的な活動のために、「クラウドファンディングふるさと納税」により、全国の2万人を超える方の支援により実施していることから、花咲線の魅力を全国の方々に発信し、利用する乗客の増加を目指し、線区の維持・存続を図るための、適切な事業費による事業展開を図る。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	根室本線花咲線の維持・存続に向けた唯一の取組みであり、他事業との統合の可能性はない。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	JR利用者や助成金活用団体の負担はあるが、本事業は、花咲線の魅力向上による利用促進PR、維持・存続を目的とした行政としての対策事業であり、受益者に負担を求めるものではない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和4年6月